

あきらめたらおしまい

- 10月～12月模擬試験でも偏差値アップを -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 開倫塾の塾長の林明夫です。

夏休みには、暑い中、多くの塾生の皆様に塾長特別講演会をお聴き頂き有難うございました。感謝します。

2. 夏休み最後の模擬試験の結果はどうでしたか。

偏差値を大幅にアップ、5以上アップできたでしょうか。偏差値を5以上アップできれば、合格の可能性のある学校がグーンと増えます。また、自分の行きたい学校(一流校)の合格可能性がグーンと高まります。受験生にとって偏差値は高ければ高いほどよいのですから、「自分の未来は自分の手で切り開く」の精神で、「2010年夏塾長特別講演会」での私の話をよく思い出し、10月～12月の模試に臨んで下さい。

3. 模試も含め、すべての試験でよい成績を取るのに一番よい方法は、『過去問5～10年分を丁寧に6回やり直す』ことです。特に偏差値が希望校までもう少しの人や、ボーダーライン上にいる人は、歯を食いしばって「過去問5～10年分を丁寧に6回やり直す」ことに挑戦して下さい。

4. 受験勉強の仕方を、「学習の3段階理論」を一日も早く身につけて下さい。学習には「理解」「定着」「応用」の3つの段階があります。各段階にふさわしい方法をとることで学力は必ず向上し、偏差値もアップします。

(1)学校の授業や開倫塾の授業は、先生の話をよく聞き、「うんなるほど」と「理解」することが第一。

\*必要なことは、授業中に熱心にメモをとりましょう。

(2)授業中に一度勉強したことは、授業終了後にもう一度すべてやり直し、もし少しでもわからないことがあったら、「辞書」と学年別の「参考書」を用いて徹底的に調べ、これはこのようなことなのかと「理解」することが第二。どうしてもよくわからない、つまり「理解」できないことは、学校や開倫塾の先生に遠慮なく質問することが大事です。「理解」できないままで放置しないことです。

(3) 授業を聞き、また、授業後自分で勉強してよく「理解」した内容は、スミからスミまで完全に身につける、つまり「定着」させるのが学習の第 2 段階です。これを具体的に言えば、授業中に勉強した学校の教科書や資料集、問題集、ノート、開倫塾のテキスト、問題集、ノートで、よく「理解」したところは、スミからスミまで完全に身につけること「定着」させることです。

「定着のための 3 大練習」の徹底的実行を

スミからスミまで完全に身につけるために、「声を出して読む」(音読練習)を全科目行うことが役に立ちます。英語、国語、社会だけでなく、理科、数学も「声を出して読む」(音読練習)を何十回、何百回も繰り返し行い、スミからスミまで覚え切る、身につけることです。

\* 「音楽」「美術」「技術・家庭」「保健・体育」の勉強も全く同じですよ。

大切な語句は何回も、何十回も書いて覚えること。「書き取り練習」を繰り返して行うこと。

\* 9 科目すべて実行して下さい。

教科書や問題集の一度勉強し「うなるほど」とよく「理解」した問題は、最低 6 回はやり直し、問題を見た瞬間にパッパッと条件反射で正解が出るまでにすること。(計算・問題練習)

\* これが一番効果的です。

\* 「練習は不可能を可能にする」。「理解」した内容について「定着のための 3 大練習」を徹底的に行うだけで、すべての科目で偏差値は、誰でも 60 以上になります。受験勉強はやったかやらないか、それだけで結果が決まります。受験勉強の敵は自分だけです。自分の怠(なま)け心に打ち勝てば、必ず偏差値は上がります。受験勉強は、必ず報(むく)われます。

\* 勉強している間に「わからない語句」「内容」に出会ったら、よくわからなくて「気持ちが悪い」と思い、必ず「辞書」や「参考書」で調べる。調べた内容は「ノート」などに書き写すこと。「書き写したこと」は何回も、何十回も読み直し、完全に覚えること。「ことば」の意味を知り、よく「理解」した上で、その「ことば」の意味を完全に身につける、正確に読めて書けるまでにすることを「語彙(ごい)を増やす」と言います。1 つの科目には、身につけなければならない「語句(ことば)」が数多くあります。それを 1 つ 1 つ丁寧に自分のものにしながら増やすことが、勉強をする上では大切です。「辞書」と「参考書」を使いこなして下さい。

(4) 学校の試験(「確認テスト」や「単元テスト」、「定期テスト」、「実力テスト」)で 100 点満点が取れること。資格等の試験(「英検」、「漢検」、「言語力検定」)や入学試験(私立中入試、中高一貫校入試、高校入試、大学入試等)で合格点を取れることを「応用力」と言います。

「応用力」を身につけるために一番よいのは、「過去問 5 ~ 10 年分を 6 回以上丁寧にやり直すこと」です。

\* 社会に出て学校で勉強し身につけたことや試験勉強で身につけたことを活用できることが、

本当の「応用力」です。学校の勉強や試験勉強で身につけたことは、学校を卒業後も時々勉強し直せば一生、死ぬまで役に立ちます。

そのために、学校の教科書や参考書、資料集、辞書などは絶対に捨てないこと。身近に置いておくことが大切です。

4 . おわりに - あきらめたらおしまい、自分の未来は自分で切り開こう -

(1) 以上のような「勉強の仕方」を身につけた上で、「高い志」(自覚)をもって「長時間学習」に励めば、必ず偏差値は5以上アップします。

(2) 2010年夏塾長講演会の内容を思い出しながら、歯を食いしばってがんばってください。

(3) あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開きましょう。

以上

- 10月3日記 -